

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成25年11月7日(2013.11.7)

【公開番号】特開2012-68834(P2012-68834A)

【公開日】平成24年4月5日(2012.4.5)

【年通号数】公開・登録公報2012-014

【出願番号】特願2010-212396(P2010-212396)

【国際特許分類】

G 0 6 F 13/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 13/00 5 1 0 A

【手続補正書】

【提出日】平成25年9月24日(2013.9.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

非暗号化通信で用いるセッション ID と暗号化通信で用いるセキュアセッション ID とを含むセッション情報を記憶する記憶手段と、

外部機器から非暗号化通信により受信したリクエストに含まれるセッション ID と前記記憶手段に記憶されたセッション情報に含まれるセッション ID とが一致しない場合、前記リクエストを送信した外部機器との通信で使用するセッション ID とセキュアセッション ID を生成して前記記憶手段にセッション情報として記憶するとともに、前記生成したセッション ID を前記リクエストに対するレスポンスに付加して前記外部機器に送信し、外部機器から暗号化通信により受信したリクエストに含まれるセッション ID と前記記憶手段に記憶されたセッション情報に含まれるセッション ID とが一致する場合、前記生成したセキュアセッション ID を、前記リクエストに対するレスポンスに付加して前記外部機器に送信する制御手段と、
を有することを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】

前記暗号化通信は、SSL により暗号化された HTTP の通信であり、前記非暗号化通信は、SSL により暗号化されていない HTTP の通信であることを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】

前記制御手段は、外部機器から暗号化通信により受信したリクエストに含まれるセッション ID と前記記憶手段に記憶されたセッション情報に含まれるセッション ID とが一致しない場合、前記リクエストを送信した外部機器との通信で使用するセッション ID とセキュアセッション ID を生成してセッション情報として前記記憶手段に記憶するとともに、前記生成したセッション ID と前記セキュアセッション ID を前記リクエストに対するレスポンスに付加して前記外部機器に送信することを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 4】

前記制御手段は、外部機器から非暗号化通信により受信したリクエストに含まれるセッション ID と、前記記憶手段に記憶されたセッション情報に含まれるセッション ID とが一致する場合、新しいセッション情報を生成せずに、前記リクエストに対するレスポンス

を前記外部機器に送信することを特徴とする請求項 1 ないし 3 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 5】

前記制御手段は、外部機器から暗号化通信により受信したリクエストに含まれるセキュアセッション ID と、前記記憶手段に記憶されたセキュアセッション ID とが一致する場合、新しいセッション情報を生成することなく、前記リクエストに対するレスポンスを前記外部機器に送信することを特徴とする請求項 1 ないし 4 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 6】

前記記憶手段は、更に、セッション情報を使用した日時を示す使用日時情報を記憶し、

前記制御手段は、外部機器から非暗号化通信により受信したリクエストに含まれるセッション ID と前記記憶手段に記憶されたセッション情報に含まれるセッション ID とが一致する場合、又は、外部機器から暗号化通信により受信したリクエストに含まれるセキュアセッション ID と前記記憶手段に記憶されたセッション情報に含まれるセキュアセッション ID とが一致する場合、前記記憶手段に記憶された使用日時情報を更新することを特徴とする請求項 1 ないし 5 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 7】

前記記憶手段は、更に、過去に暗号化通信を行ったか否かを示すフラグを記憶し、

前記制御手段は、外部機器から暗号化通信により受信したリクエストに含まれるセッション ID と、前記記憶手段に記憶されたセッション情報に含まれるセッション ID とが一致する場合で、かつ、前記フラグが OFF である場合、前記セッション ID に対応づけて記憶されているセキュアセッション ID を、前記リクエストに対するレスポンスに付加して前記外部機器に送信するとともに、前記フラグを OFF から ON に設定することを特徴とする請求項 1 ないし 6 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 8】

前記制御手段は、外部機器から暗号化通信により受信したリクエストに含まれるセッション ID と、前記記憶手段に記憶されたセッション情報に含まれるセッション ID とが一致する場合で、かつ、前記フラグが ON である場合、新しいセッション情報を生成して前記記憶手段に記憶するとともに、前記生成したセッション ID とセキュアセッション ID を前記リクエストに対するレスポンスに付加して前記外部機器に送信することを特徴とする請求項 7 に記載の情報処理装置。

【請求項 9】

前記制御手段は、外部機器から暗号化通信又は非暗号化通信により受信したリクエストの Cookie ヘッダにセッション ID 又はセキュアセッション ID が含まれているかを確認することを特徴とする請求項 1 ないし 8 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 10】

原稿を読み取る読取手段を更に有し、

前記リクエストは、前記読取手段により原稿を読み取るためのリクエストであることを特徴とする請求項 1 ないし 9 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 11】

画像データを印刷する印刷手段を更に有し、

前記リクエストは、前記印刷手段により画像データを印刷するためのリクエストであることを特徴とする請求項 1 ないし 10 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 12】

情報処理装置の制御方法であって、

非暗号化通信で用いるセッション ID と暗号化通信で用いるセキュアセッション ID とを含むセッション情報を記憶手段に記憶する記憶ステップと、

外部機器から非暗号化通信により受信したリクエストに含まれるセッション ID と前記記憶手段に記憶されたセッション情報に含まれるセッション ID とが一致しない場合、前記リクエストを送信した外部機器との通信で使用するセッション ID とセキュアセッシ

ンIDを生成して前記記憶手段にセッション情報として記憶するとともに、前記生成したセッションIDを前記リクエストに対するレスポンスに付加して前記外部機器に送信する第1の制御ステップと、

外部機器から暗号化通信により受信したリクエストに含まれるセッションIDと前記記憶ステップで記憶されたセッション情報に含まれるセッションIDとが一致する場合、前記生成したセキュアセッションIDを、前記リクエストに対するレスポンスに付加して前記外部機器に送信する第2の制御ステップと、

を有することを特徴とする制御方法。

【請求項13】

情報処理装置に

非暗号化通信で用いるセッションIDと暗号化通信で用いるセキュアセッションIDとを含むセッション情報を記憶手段に記憶する記憶ステップと、

外部機器から非暗号化通信により受信したリクエストに含まれるセッションIDと前記記憶手段に記憶されたセッション情報に含まれるセッションIDとが一致しない場合、前記リクエストを送信した外部機器との通信で使用するセッションIDとセキュアセッションIDを生成して前記記憶手段にセッション情報として記憶するとともに、前記生成したセッションIDを前記リクエストに対するレスポンスに付加して前記外部機器に送信する第1の制御ステップと、

外部機器から暗号化通信により受信したリクエストに含まれるセッションIDと前記記憶ステップで記憶されたセッション情報に含まれるセッションIDとが一致する場合、前記生成したセキュアセッションIDを、前記リクエストに対するレスポンスに付加して前記外部機器に送信する第2の制御ステップと、

を実行させることを特徴とするプログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

上記目的を達成するために、本発明の情報処理装置は、非暗号化通信で用いるセッションIDと暗号化通信で用いるセキュアセッションIDとを含むセッション情報を記憶する記憶手段と、外部機器から非暗号化通信により受信したリクエストに含まれるセッションIDと前記記憶手段に記憶されたセッション情報に含まれるセッションIDとが一致しない場合、前記リクエストを送信した外部機器との通信で使用するセッションIDとセキュアセッションIDを生成して前記記憶手段にセッション情報として記憶するとともに、前記生成したセッションIDを前記リクエストに対するレスポンスに付加して前記外部機器に送信し、外部機器から暗号化通信により受信したリクエストに含まれるセッションIDと前記記憶手段に記憶されたセッション情報に含まれるセッションIDとが一致する場合、前記生成したセキュアセッションIDを、前記リクエストに対するレスポンスに付加して前記外部機器に送信する制御手段と、を有することを特徴とする。